

CILとちぎ通信

だいごう れいわ ねん がつ にちはつこう
第34号 令和4年7月29日発行

れいわ ねん がつ にち
令和4年4月21日

オールとちぎプロジェクトお花育て隊！参加しました。



- | | | | |
|---------------------------------|----|-------------------------------------|----|
| •『ディナーショーに行ってきました。』 | 2 | •足利長尾の武と美
足利市立美術館を見に行っ | 2 |
| •クラウドファンディングご協力ありがとうございました。 | 4 | •クラウドファンディング公開記念！
オンライン講演会を行いました | 5 |
| •特別講演についての振り返り | 6 | •障害がある、俳優『神戸浩』さん | 8 |
| •いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会参加
記念品梱包業務 | 9 | •宇都宮短期大学でお話ししてきました | 10 |
| •オールとちぎプロジェクトでマリー
ゴールドを植えました | 11 | •令和4年度重度訪問介護従業者養成
研修 統合課程 行いました | 12 |

とくていひ えいりかつどうほうじん じりつせいかつ
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

とちぎけんうつのみやししもぐりまち
〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ
電話・FAX：028-638-2538 E-mail：ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <https://www.ciltochigi.org/>

『ディナーショーに行ってきました。』

しば ひろみ
柴 洋美

令和4年5月4日に、ものまね芸人の荒牧陽子さんのディナーショーに行ってきました。ディナーショーとは、まずホテルで受付して会場の自分の席に座ります。テーブルに創作フルコース料理と飲み物が順番に運ばれて来るので、それを順番に食べます。飲み物は飲み放題なので、お酒を飲み過ぎてショーが見られなくならないように気を付けます。ちなみに私は、お酒は飲みません。だいたい、食事の時間は1時間30分ぐらいです。食事を終えた後にショーを1時間から1時間30分ぐらい楽しめます。

今回のディナーショーは、実力派ものまね芸人の荒牧陽子さんを楽しみました。倅田來未さん、MISIAさんなどの、色々な芸能人の方たちのものまねを、披露してくれました。ショーの後半になり、お客様の中に5月4日に誕生日の方が2人いて、ものまねで、ハッピーバースデー🎂❤️の歌を歌ってくれていました。

そして、なんと、私の85歳の母が、前日に誕生日だったので、美空ひばりさんのものまねで、ハッピーバースデー🎂❤️の歌を歌ってくれて、とっても盛り上がりました。私の母は、会場の中で一番目立ってノリノリでショーを見ていて、荒牧陽子さんのインスタグラムに母のことがぶんしょう けいさい 文章で掲載されました。

ディナーショーの代金は大変でしたが、
とっても楽しい一日でした。



あしかがながお ぶ び あしかがしりつびじゅつかん み い
足利長尾の武と美 足利市立美術館を見に行つて

えりあす
ELIAS

わたし むかし にほんとう す なか ち ごむらまさ ようとう ゆうめい
私は昔から日本刀が好きで中でも「千子村正」(妖刀として有名になつ

たが切れ味は良いものの名刀としては一段落ちるらしい) 7~8百万円し
ますが結構何振りもあるそうです。

今年の3月17日、足利市制100周年記念特別展が足利市立美術館で
行われ行って来ました。お目当ては日本刀の「山姥切国広」前回の展示は
7年前、今年は国広作の刀はもちろん、父旅泊はじめ、弟子の国路と国貞
の刀など合わせて九振りの刀を見る事が出来ました。

今回、刀を見るにあたって不安がありました。4~5年前からゲームや
アニメの影響もあって刀剣女子と呼ばれ日本刀が女子の間で流行しだ
し、他の刀が展示されている博物館は若い女の子で溢れかえっていた事
です。「これから刀をゆっくり見る事は出来ないな」などと思っていまし
たが(これから話す)新型コロナの影響で無くなりました。

しかし、新たな問題が発生しました。新型コロナのために博物館の観覧
は「完全予約制の抽選」「日時の制限」「人数制限」「観覧時間の制限」の
なかで行われたのです。ちなみに私は3月17日の10時で人数は20
人、1時間の観覧時間でした。足利市立美術館は2階が正面入口となっ
ており、テンションが上がります。全館バリアフリーで車椅子でも安心して
観覧出来ました。

まず2階フロアは戦国時代の文化的な掛け軸、優れた文章や詩を集めた
本国宝「文選」。家康、北条などから寄せられた手紙。さらに長い歴史が
記された領主「長尾の系図」など足利文化の源流とも言える数多くの
史料が展示されていました。

そしていよいよ本日のお目当て3階フロア「領主 長尾六代の甲冑」
さらに国広ゆかりの刀が九振り。

一気にテンションが上がりました。展示されている国広
や父、弟子の刀、大刀五振り、小刀三振り、中でも国広
が、足利学校で作成したと言われる小刀「布袋国広(刀身



ゆめにかおるばいりおおし もじ ねむ ほてい か あしかがしみんぶんか
に夢香梅里多の文字と眠り布袋が描かれている)」は足利市民文化
ざいだんしよぞう だいてう しようとう せんごくじだい めすら どうしん
財団所蔵となっています。これら大刀や小刀は戦国時代には珍しい刀身
の反りの浅い（直刀に近い形状）この時代、馬上で刀を振る事を考慮し
て反りが深いのが主流だったのですが…そして一際目立つ刀が一振りあり
ました。

やまばざりにひろ ほか かたな くら そ ふか どうしん はば ひろ にくあつ めいとう
「山姥切国広」他の刀に比べ反りが深い。刀身の幅も広く肉厚の名刀。

じゅうようぶん かざい じつ
重要文化財となっている（実はこの
かたな こじん しよゆうぶつ しんけん
刀、個人の所有物です）。やはり真剣は
びじゆつとう ちが み みるもの ひ きつける なに
美術刀と違い見るものを惹きつける何か
があり素人が真剣を抜くと不思議に妙
な気分になると言うのが解る気がしま
す。私も感動で涙を流した程です。少
なくとも周りにはそう見えたはずです。
（実は黄砂で目が痛く刀を見た時と重
なっただけなのだが）

それでも今回の刀「山姥切国広」
かんらん きちよう たいけん じかい
観覧は貴重な体験でした。次回はいつの
てんじ なるかはわかりませんが、また機会があれば是非行きたいと思いま
した。



クラウドファンディングご協力ありがとうございました。

ことし がつ きたかんとく だんたい とちぎ いばらき ぐんま じりつせいかつ
今年3月に北関東の4団体（栃木、茨城、群馬）の自立生活センターで
きょうせいしゃかい じつげん しょうてんがいとう せっちひよう しえん
「共生社会を実現するために商店街等に「スロープ」の設置費用を支援
します！」クラウドファンディングを始めました。

クラウドファンディングを通して、障害者差別解消法の周知と理解、

あつ かね しょうてんがい 集まったお金で商店街へスロープを寄付して各お店でスロープを共同利
よう きがる にゆうてん かんきょうせいび だれ す ちいき
用。気軽に入店できる環境整備をし、誰もが住みやすい地域になればと
おも
思っています。

こんかい おお かに きょうりよく
今回、多くの方にご協力していただきましたが、目標達成に届きませ
んでした。こんご きょうせいしゃかい めざ しょうほうはっしん かつどう つづ
今後も共生社会を目指して、情報発信や活動を続けてまいり
ます。

クラウドファンディング公開記念！オンライン講演会を行いました

さいとう やすお
齋藤 康雄

にほんかいぎ さとうさとし まね きょうせいしゃかい しょうがい しゃかい
DPⅠ日本会議の佐藤聡さんをお招きして、「共生社会と障害の社会
モデル」というテーマでご講演いただきました。内容を盛り込んで頼んでし
まったので、さとうさんは休みなく大変だったと思われます。講演中に、
さとう たく たつきゅうびん とど よ りん れんだ
佐藤さん宅に宅急便が届き、呼び鈴🔔！連打！というハプニングも！

はじめに、オンライン開催ということで準備をしていたのですが、LINEからURLを送った人は、LINEの設定を変えないとzoomが開かないということになり、参加者の方々に再度メールをしました。以前は、LINEからzoomが起動できたのですが、LINEがアップデートしたかで、仕様がかわってしまったようです。

しかし、UDトークで文字入力をされた方や手話の方々のご協力
ぶじ しゅうりょうでき
無事に終了出来ました。

さんか かに きょうりよく かがた
ご参加してくださった方やご協力してもらった方々ありがとうございます

ました😊来年度は直接会場
かいさい よ
で開催できたら良いのです
が、オンラインになるかもし
れません。その際はよろしく
ねが
お願いします。



とくべつこうえん 特別講演についての振り返り

すすき てつや
鈴木 哲也

みな 皆さん。こんにちは。くるまいす ひびす すずき
車椅子にて日々過ごしております鈴木です。

がつ にち かいさい 3月23日に開催されましたとくべつこうえん
特別講演についての振り返りと、クラウド
ファンディングのげんじょう 現状 についてのおも しる 想いを記したいとぞん 存じます。

● さとうさとるさま とくべつこうえん 佐藤 聡 様の特別講演

しょうがい なに しょうがい かんが
「障害って何？障害ってどこにあるの？」考えさせられるテーマでし
た。

しょうがい がくせいじだい たいけんだん はじ と く かつどう
障害による学生時代の体験談から始まり、取り組んでこられた活動の
かすかす くわ さっこんわだい てつどうしゃりょう くるまいす かいぜん
数々、加えて昨今話題になっている鉄道車両における車椅子スペース改善
にちゅうりよく ようす こうえん
注力されてる様子をご講演いただきました。

はいちょう しょうがい たい とら かた あら はっけん わたし
拝聴するなかで「障害に対する捉え方」について新たな発見が私にも
ありました。しょうがい かくこじん もんだい
障害は各個人だけの問題ではなく、それをうけいれることが
でき しゃかい かない はないか？というしてん 視点です。こ
ういったしてん しゃかい と つけ かいぜん む と くる 組んでゆくこと
のじゅうようせい かん さとうさま じつげん む と くる かいだいかいけつ
重要性を感じとりました。佐藤様の実現に向けての取り組み、課題解決
む あつ おも つた まい
に向けての熱い想いが伝わって参りました。

● かつよう zoomの活用について

わたくしごと しゅうぎょう かいぎ さんか
私事ですが、就業にてzoomでのオンライン会議への「参加」は
ひびおこな しゃかい
日々行っております。が、「司会」となる
な じ
と馴染みがありませんでした。

さんかしゃ ひょうじょう がめんこ はあく
参加者の表情を画面越しに把握するの
むずか いちど あ
は難しく、一度もお会いしたことのない
みな かお そうぞう ようい
皆さんの顔を想像するのは容易ではあり



ませんでした。オンライン会議の進行はそれなりの経験が不可欠であると実感いたしました。とはいえ、外出行為も容易ではない障害を抱える我々にとってオンライン会議の広がりは一時的といえましょう。日進月歩で進化するオンラインの波、これに置いて(老い?)てゆかれないよう意識して利用している毎日です。皆さんはいかがでしょう。

従来型の対面(オフライン)による交流、自宅等から参加できるZoom等による交流(オンライン)、この両輪を使い分けて、意見交換する機会を増やしてゆければ良いかと私は考えます。

●クラウドファンディングの現状

要因はいろいろあったかと思いますが、結果としては今ひとつの結果となっていました。

「人間にとって小さな一歩だが人類にとっては偉大な一歩だ」との言葉を一度は耳にされたことがある方は多いと思います。人類が月面に降り立った偉業との比較はスケールが大きすぎるかもしれません。しかしながら、何事に於いても「ゼロからイチ」を立ち上げるには行動力が必要です。宇都宮大学の学生さん、地域の皆様のご協力を得て、クラウドファンディングに挑戦した今回の一歩を偉大な一歩へと、私達の手を合わせて育ててゆきましょう。



★今回に限らず、いろいろと機会を設けてくださるCILの皆様方に感謝すると共に、今後の活動にも関わらせていただければ幸いです。最後まで拝読いただきありがとうございました。

こうし さとうさま かつどう
講師：佐藤様の活動について



しんかんせんくるまいす かくにん
新幹線車椅子スペースを確認→



あかばねこっこうしょう とっきゅうしゃりょう
←赤羽国交相に特急車両
くるまいす どうにゆう む
車椅子スペース導入に向けた
けんとう かそくか ようぼう
検討の加速化などを要望



いいたばしえき たかなわ えき
←JR飯田橋駅・高輪ゲートウェイ駅
しきつ
を視察

しょうがい はいゆう かんべひろし
障害がある、俳優『神戸浩』さん

しば ひろみ
柴 洋美

がつ ひ 5月のある日、NHKのEテレ「バリバラ」という番組で、しょうがい
障害のある
はいゆう かんべひろし れきし かい わた ほうえい
俳優、『神戸浩』さんの歴史を2回に渡って放映されました。

のうせい まひ かんべ こども ころ しんたい ふじゆう こえ しつ
脳性麻痺の神戸さんは子供の頃から、身体の不自由と声の質でいじめに
あたり、かんべ どうさま かくしつ はいゆう みかえ
神戸さんのお父様との確執などで、俳優になって見返してやる
きもち こと
気持ちがあった事。

そして、あるげきだん はい えいがかい みと
劇団に入ってがんばり、映画界で認められて、ある賞に
かがや はいゆう せいこう さいなころ しこと へ じぶん にんげん
輝き俳優として成功するが、30歳中頃に仕事が減り、自分の人間として
のせいかつ み なお み たけ せいかつ はし こと しょくじ きつ
生活を見つめ直して、身の丈にあった生活を始めた事。食事も気を付け
たり、じたく しばい けいこば つく しばい けいこ まいにち
自宅に芝居の稽古場を作って、芝居の稽古をきちんと毎日している
こと
事。

また けいざいてき きばん つく さい とき はたら さい
又、経済的基盤を作るために、21歳の時から、ホテルで働いて55歳

まで^{つづ}続けて、厚生年金^{こうせいねんきん}の受給者^{じゅきゅうしゃ}になったりしました。



番組^{ばんぐみ}の終盤^{しゅうばん}に、神戸さん^{かんのべ}が顔をぐしゃぐしゃ^{かお}にして、ご自分の両親^{じぶんりょうしん}に「生んでくれて、ありがとう^う」と言っていたのを見て、胸^{むね}が締め付け^しられて苦しくなりました。ホテルマン^{はいゆう}と俳優^{はいゆう}との二刀流^{にとりゅう}が、ここに^{かん}いると感じました。

いちご^{いちえ}一会^{こくたい}とちぎ国体^{たいかい}・とちぎ大会^{かいさい}参加記念品^む梱包業務^{せんしゅ}

10月の「いちご^{いちえ}一会^{こくたい}とちぎ国体^{たいかい}・とちぎ大会^{かいさい}」開催^むに向け、選手^{せんしゅ}や監督^{かん}に送る参加記念品^{たぐ}約1万3千個^{おくさん}を一つずつ丁寧^{きねんひん}に包む作業^まが、宇都宮^ま市内^{まん}の障がい者施設^{せん}4か所^こで行われています。



記念品^{きねんひん}は餃子^{ぎょうざ}やイチゴ、カクテル、ジャズ、イチ^{うつのみ}ョウ、宇都宮城^{うつのみやじょう}（亀^{かめ}）等市^{なとし}の名物^{めいぶつ}をデザイン^か化した宮染^{みやぞ}めの手ぬぐい^て。複数^{ふくすう}の案^{あん}から市民^{しみん}の投票^{とうひょう}で^{けつてい}決定^{けつぎ}したそうです。デザイン^そ～染め物工場^{ものこうじょう}～梱包^{こんぼう}も^{すべ}全て^{うつのみやしな}宇都宮市内^{しな}のいくつものところ^かが関わ^かって完成^{かんせい}させた^{きねんひん}ものです。記念品^{しな}には市内^{こう}の公私立^{りつすべ}全^{ぜん}ての

中学生^{ちゅうがくせい}が書いた^か応援^{おうえん}メッセージ^そも添え^そられております。

多機能型事業所^{たきのうがたじぎょうしょ}は一^{こんぼうさぎょう}とでも、梱包作業^{しょ}4か所^{うち}の内^{うち}のひとつとして

3, 250本のタオル^{ほん}を梱包作業^{こんぼうさぎょう}させて^{ほん}いただきました。

出来る^{でき}作業^{さぎょう}を分担^{ぶんたん}して行^{おこな}いました^{おこな}が、スムーズ^{さぎょう}に作業^{さぎょう}が^{よてい}でき^{はや}予定^{よてい}より早^{はや}く^{はや}梱包^{こんぼう}作業^{さぎょう}が^{しゅうりょう}終了^{しゅうりょう}しました。終わ^おった^お後^おは達成感^{たっせいگان}を味^{あじ}わう^{あじ}ことが出来^{でき}ました。



うつのみやたんきだいがく はな
宇都宮短期大学でお話ししてきました

はこいし みつこ
箱石 充子

わたし はな ことし ねん
私がお話しするのは今年で3年

め
目になります。

とうじつ じりつ しょうかい
当日は、自立センターのことを紹介

わたし しつもんほうしき かいわ
したり私に質問方式で会話をした

りしました。たいはん がくせい
りしました。大半の学生が、「もし

どうぶつ なまえ じぶん
動物の名前を自分でつけるとしたら、

どんな動物が良いですか」「好きなも

の何ですか」、そんなありきたりな

しつもん
質問でしたが、2人ほど、「一人暮らしで一番大変なことは何ですか」「大勢

ひと かか
の人と関わってどういうことが良かったですか」といった質問をしてくれま

した。ありきたりなしつもん
した。ありきたりな質問ではなくて、せっかくだから深いことを聞いてくれ

よーとおも
よーと思いました。

はなし き
話を聞いてくれた13人の中で、医療事務を目指す人が8人なのに対し、

かいごふくしし
介護福祉士は2人しかいませんでした。介護のアルバイトをやってみたく

いうひと おお
いう人が多かったけれど、書いてくれた感想文では、大半の人が障害者の

かた じっさい あ はな はじ
方と実際に会って話したことは初めてだとのことでした。それを読んで、ま

だまだ宇都宮は遅れていると感じ

ました。わたしたち
ました。私たちはもっともっと色々

ばしょ で すがた み
な場所へ出かけて行って姿を見せ

たり話をしていかなければ宇都宮

はひらけていかないと強く感じま

す。やささを引き出していくことが

わたしたち おお やくわり おも
私達の大きな役割だと思うので



す。今日は障害者の自立を通じて、障害者の生きる姿を知ってもらいました。介護について難しく考えている人もいるけど、学生もアルバイトでやっており、やろうと思えば誰でもできる仕事です。福祉学部の学生さんには、ぜひ、障害者の立場からの福祉についての考えを深めていってほしいと思っています。

オールとちぎプロジェクトでマリーゴールドを植えました

なかやま ゆうた
中山 祐太

4月にとちまるくんとみみヤリーちゃんが来てくれ一緒にマリーゴールドの種をまきました。初めてお会いして感激でした。とちまるくんとみみヤリーちゃんに会えるの珍しいですから記憶に残ります。とちぎを盛り上げてくれたら嬉しい限りです。



そして、芽が出てきたマリーゴールドをご近所さん宅に配ってきました。皆様予想以上に喜んでくださって皆さんで育てたか

いがありました。お渡ししたお宅の皆さんが、ありがとうと心から言っているのを感じました。(お花はご近所さんや学校、日頃お世話になっている方々にお配りしました。)



令和4年度重度訪問介護従業者養成研修 統合課程行いました

6月25日、26日、7月2日に令和4年度第1回目の研修を行いました。開催日は猛暑日続きでしたが、無事に研修が終わりました。今回は6名の方が受講してくださいました。

～受講者アンケートより～

・3日間の研修で新たに理解したことや実際に障がい者の方の話が聞けていい経験になった。

・技術実習が入り面白かった。その個人に合わせての技術が重要になるので柔軟な対応が必要だと思う。

・普通に生活していたら出来ない経験をさせてもらって良かった。

・胃ろうの必要性や対応について学べた。

令和4年度は残り3回実施予定です。気になる方はお問い合わせくださいませ。



きかんしこうどくかいいんほしゅうちゅう

機関誌購読会員募集中

じりつせいかつ 自立生活センターとちぎの機関誌 (年3回発行) の購読をしてくれる

かいいん ぼしゅう 会員を募集しています。かいいん とうろく 登録してくれた方には、C I Lとち

ぎの様々なイベントのご案内もいたします。 年会費 300円